

1 全身用X線CT装置については、以下の要件を満たすこと。

1-1	走査ガントリについては、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	撮影方式は、R/R連続回転方式であること。
1-1-2	回転駆動方式は、リニアモータダイレクトドライブ方式であること。
1-1-3	最短撮影時間は、0.275秒以下であること。
1-1-4	撮影領域（スキャンFOV）は、最大500mm以上であること。
1-1-5	ガントリ開口径は、780mm以上であること。
1-1-6	ガントリチルト機構は $\pm 30^{\circ}$ 以上が可能であること。もしくはポジショニング用自動位置合わせ機能を持つカメラを有すること。

1-2	X線検出器については、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	X線検出器は固体検出器であること。
1-2-2	X線検出器の列数は、192列以上であること。検出器を2システム有する場合は2つの合計列数が192列以上であること。
1-2-3	X線検出器のチャンネル数は736ch以上であること。
1-2-4	コンベショナルスキャン（ボリュームスキャン）1回転の撮影幅は57.6mm以上であること。
1-2-5	最小撮影スライス厚は、0.6mm以下であること。

1-3	X線管球については、以下の要件を満たすこと。
1-3-1	X線管球の陽極熱容量（インサート熱容量）は、7.5MHU以上であること。
1-3-2	X線管球焦点は、最小焦点サイズがIEC規格 $1.0 \times 0.8\text{mm}$ 以下であること。
1-3-3	銀、もしくは錫を用いたフィルターを有すること。

1-4	X線発生装置については、以下の要件を満たすこと。
1-4-1	X線管電圧は、最大135kV以上の出力が可能であること。
1-4-2	最大定格出力は、90kW以上であること。
1-4-3	X線管電流は、最大900mA以上であること。
1-4-4	X線管電流は、最小20mA以下であること。

1-5	寝台については、以下の要件を満たすこと。
1-5-1	最大撮影範囲は2,000mm以上であること。
1-5-2	寝台の天板最低高は、490mm以下であること。
1-5-3	寝台の天板幅は、430mm以上であること。
1-5-4	患者搭載最大荷重は、227kg以上であること。
1-5-5	寝台が左右に42mmずつ以上可動できること。もしくはポジショニング用自動位置合わせ機能を持つカメラを有すること。

1-6	操作コンソール・アプリケーションについては、以下の要件を満たすこと。
1-6-1	操作コンソールは、19インチ以上のモニタ、キーボード、マウスを2つずつ有すること。
1-6-2	画像データはCT本体において、800,000画像以上の保存ができること。不可の場合は同等以上の保存容量を有する画像サーバーを設置すること。
1-6-3	画像再構成は、60画像/秒以上の再構成処理が可能であること。

1-6-4	ノイズ低減を行う逐次近似法を応用した画像再構成を有すること。
1-6-5	金属アーチファクトを低減する画像再構成を有すること。
1-6-6	Deep Learningを応用した画像再構成を有すること。もしくは被ばく低減のため管電圧70kV以下を有すること。CT4室に対しても同様のいずれかの機能を追加すること。
1-6-7	ボディパーフュージョンを有すること。コンソールで不可の場合、専用の画像処理ワークステーションを有すること。
1-6-8	頭部パーフュージョンを有すること。解析用にコンソールとは別置きの自社画像処理ワークステーションを有すること。
1-6-9	Dual Energy解析機能を有すること。解析用にコンソールとは別置きの自社画像処理ワークステーションを有すること。

1-7	スキャン機能については、以下の要件を満たすこと。
1-7-1	被ばく線量を低減するために、体形によって最適なX線量になるよう、撮影中に管電流を連続して変化させる機能を有すること。
1-7-2	心電同期システムを有すること。
1-7-3	Dual Energyスキャン機能を有すること。

2	造影剤注入装置については、以下の要件を満たすこと。
2-1	造影剤の注入後に生理食塩水後押しができる2筒式のインジェクターであること。
2-2	多段階注入は、1段階注入、2段階注入、マルチ注入、可変注入が可能であること。
2-3	造影剤シリンジに装着されたICタグの情報を読み取る機能を有すること。
2-4	天井懸垂装置に設置すること。
2-5	撮影室内に圧力監視モニタを有すること。
2-6	当院既存のRIS及びPACSと連携すること。また、CT3室設置の造影剤注入装置も同様に連携させること。

3	画像処理3Dワークステーションについては、以下の要件を満たすこと。
3-1	データサーバは12TBの容量を有すること
3-2	クライアントの同時アクセス数は8台であること。
3-3	クライアント端末を8式有すること。
3-4	既設のオプション解析ソフトウェアのライセンスを引き継ぐこと。
3-5	既設データサーバのデータ移行を行うこと。

4	周辺機器については、以下の要件を満たすこと。
4-1	操作用の椅子を有すること。
4-2	ガントリ裏を観察可能な監視カメラシステムを有すること。
4-3	寝台付近を観察可能なパン/チルト/ズーム機能付の監視カメラシステムを有すること。
4-3	当院既存の待合室監視カメラのモニタを2式増設すること。
4-3	CTと組合せ可能な心電図モニタ及び電極を有すること。
4-4	患者ポジショニング用のスポンジを有すること
4-5	ファントム等を収納する棚を有すること。
4-6	3D作成（VR作成）に関わる画像出力のための、A3対応カラーコピー・スキャナーを有すること。
4-7	装置プロトコル作成のためのマルチエナジーファントム・CTDIファントムを有すること。

5	ネットワーク接続については、以下の要件を満たすこと。
5-1	患者情報は、DICOMで規定する規格で、当院既存のRISと送受信できること。

5-2	撮影した画像は、DICOMで規定する規格で、当院既存のPACSに保存できること。
5-3	RDSRに対応し、当院既存の線量管理システムと連携できること。
5-4	撮影した画像は、画像処理3Dワークステーションへ送信できること。また、Q/R接続を行うこと。
5-5	システムと機器の接続に必要な接続費用は導入機器の価格に含むこと。
5-6	既存のCT装置との画像送受信が可能であること

6	設置条件
6-1	設置に必要な付帯工事を行うこと、レイアウトは施設の当院担当者と話し合うこと。
6-2	検査室内の流し台を撤去し、壁面及び床面の補修を行うこと。
6-3	検査室内ダウンライトスイッチの移設を行うこと。
6-4	電源は必要な工事を行うこと。
6-5	本装置が有効に稼働するために教育訓練を行うこと。
6-6	納入するまでの間に装置の仕様変更やソフトウェアの変更があった場合は、発注者と協議の上、最適な仕様で引き渡すこと。

7	保守体制、その他は以下の要件を満たすこと。
7-1	電話回線を利用したリモートメンテナンス体制が整っていること。
7-2	リモート診断に関わる回線費用は落札業者が負担すること。
7-3	障害発生時、夜間及び休日も含め24時間電話連絡が取れる体制であること。
7-4	静岡県内に技術者が常駐しており、迅速な保守対応ができること。
7-5	調達物品に関する取扱説明書（日本語）を1部提出すること。
7-6	調達物品は、薬事の承認を取得していること。
7-7	装置の納入検収後翌年度末までは、障害発生時への対応を無償で行うこと。
7-8	装置の納入検収後翌年度末までは、すべての部品について無償保証を行うこと。
7-9	装置の納入検収後1年後に定期点検を無償で行うこと。